

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブルースカイジュニア浦和教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月20日		~ 2026年 2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	80	(回答者数) 52
○従業者評価実施期間	2026年 1月20日		~ 2026年 2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しく通ってくれていて、保護者様も事業所の支援への満足感が高いこと	子どもたちの個性を尊重し、それぞれが持っている輝く部分を引き出す関わりを大切にしています。誰かと比べるのではなく、その子自身の良さを認めて膨らませていきたいと常に願って支援を行っています。	事業所で見せる子どもたちの姿だけではなく、学校やご家庭での様子を保護者様から聞き取りをさせていただくことで、子どもたちの《いま》の状態を把握できるようにしたいと思います。子どもたちの声に耳を傾けること、保護者様にも安心してお話をさせていただけるような関係性を築けるように努力をしていきます。
2	指導員が子どもたちに対して、また保護者様に対して共感的に支援を行うことができていること	《こうだ!》と決めつけをせずに、《~かもしれない》を様々な予測を立てて子どもたちと関わることで、共感性のある支援者になりたいと日々思っています。	職員間のコミュニケーションを密に取ることで、自分一人の視点に偏らずに支援ができるよう会議の時間の確保に努めます。保護者様のお話を丁寧に聞き取ること、その内容を職員全体で共有することにより、チームワークの取れた事業所でありたいです。
3	職員のスキル向上のための情報共有の機会を設けていたり、外部研修への参加がしやすい環境を整えていること	外部研修の情報収集はこまめに行っています。職員が研修に行きやすいように、勤務を調整したり、互いに協力をし合って業務を進めています。	さいたま市主催の研修への参加が多かったのですが、今後は有料研修も含めて幅を広げていながら、職員のスキル向上を目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練や、事故防止マニュアルの周知が未熟であること	訓練を実施した際の周知活動が不十分であったこと	訓練の実施についてはLINE配信や定期的に配布するジュニア通信にて、周知を行うことを徹底足します。事故防止マニュアルや虐待防止マニュアルについては、保護者様が手に取りやすい場所(本棚付近)に設置をすることを検討しています。
2	きょうだい児との活動の機会、保護者会の機会を増やすこと	きょうだい児の参加を推奨する声掛けが不十分であったこと	特別イベント療育にて、きょうだい児の参加を促していますが、もしかしらそのことを知らないご家庭もあったと思います。もっと参加がしやすいように周知活動に力を入れていきます。保護者同士の交流の機会も、《びあサロン》の開催方法をブラッシュアップしていきながら、よりよいものにしていきたいと思えます。
3	個人情報の漏洩があったこと	ダブルチェックをせずにサービス提供記録を用意し、保護者に渡ししてしまったこと	お子様の名前が書かれた書類の取り扱いについて、一人で準備をするのではなく、他の職員とのダブルチェックを行うことを徹底してまいります。